

【北海道庁から】北海道地域おこし協力隊メールマガジン  
北海道 総合政策部 地域創生局 地域政策課  
■ ■ 北海道の地域おこし協力隊の方々にお届けする  
■ ■ ■ ■ ■ メールマガジン♪  
■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ 研修会やイベントの開催情報や  
■ ■ ■ ■ ■ 全道各地で活躍する地域おこし協力隊の活動状況、  
■ ■ ■ ■ ■ 定住・起業の支援情報などを発信します。

\*\*\*\*\*

#### ■目次

- 【1】【総務省】令和3年度「地域おこし協力隊等初任者研修第4回」が開催されます！
- 【2】【きた北海道協力隊ネットワーク】2021年度研修会開催に向けたアンケートの回答をお願いいたします
- 【3】【北海道】さとのば大学講師 西塔大海さんによる連載企画のお知らせです！
- 【4】【協力隊 OBOG の今】陸別町地域おこし協力隊 OB 日向優さんの取組をご紹介します！

\*\*\*\*\*

#### 【1】【総務省】令和3年度「地域おこし協力隊等初任者研修第4回」が開催されます！

総務省では、協力隊初任者向け研修を令和4年1月17日～18日にオンラインで開催します。内容は第1回目と同様となっています。また、今回も定員が全国で80名となっておりますので、参加を希望される方は、早めに申し込みされることをお勧めします。

なお、任期2年目及び3年目の協力隊員等を対象とした「ステップアップ研修～地域・出口を見据えた活動編～」につきましては、来年2月に開催する予定とのことです。総務省から日程等の通知が届き次第、道のホームページ等でお知らせいたします。

- 開催日時 (1日目) 令和4年1月17日(月) 13時から  
(2日目) 令和4年1月18日(火) 9時30分から  
※2日間の連続研修で、内容については、第1回と同様です。
- 開催方法 オンライン開催 (Zoom)  
※スマートフォンの使用は不可。  
※通信環境が安定した静かな場所でパソコン又はタブレットを使用し受講すること  
※イヤホン、マイクを使用し、1台のパソコン又はタブレットを複数人が使用することは避けること。
- 申込方法 令和3年12月27日(月) 12時から令和4年1月5日(水) 17時までに以下のページからお申し込みください。  
研修申込ページはこちら  
<https://www.hip-ltd.co.jp/chiikiokoshi/>
- 受講料 無料

#### 【2】【きた北海道協力隊ネットワーク】2021年度研修会開催に向けたアンケートの回答をお願いいたします

北海道の地域おこし協力隊ネットワークの一つである「きた北海道協力隊ネットワーク」事務局長さんから、アンケートの掲載依頼がありましたので一言いただきました！

「きた北海道協力隊ネットワーク」(通称KKN)は、地域おこし協力隊の連携強化を第一目標に、行政と地域の方々を結ぶ団体として、宗谷、留萌、上川管内の隊員を中心に結成されました。

KKN事務局では、来年2022年2月後半～3月前半頃に、協力隊の皆さまにご参加いただける研修会を検討中です！つきましては、研修会の内容やテーマなど、実際に協力隊の皆さまが直面している困難や課題などをベースに企画していきたいと思っておりますので、アンケートにご回答いただけますと幸いです。また、アンケートへのご回答のほか、普段の活動のなかで「ここが困っている」、「あのことについてもっと知りたい」などがございましたら、その他欄にてご意見いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます！

KKN事務局長さんありがとうございました。皆様のご協力をお願いいたします！

- KKN 2021年度研修アンケートページ  
<https://forms.gle/14y11LKh8ENuWxMDA>
- KKN Facebook  
<https://www.facebook.com/kkn.manager/>

【3】【北海道】さとのば大学講師 西塔大海(さいとうもとみ)さんからの連載企画のお知らせ！

地域で活躍する人材の育成を目指す「さとのば大学」の講師で、全国各地の協力隊の支援・制度設計の専門家である、西塔大海(さいとうもとみ)さんに、地域おこし協力隊の皆さんの、課題の解決や効果的な活動につながる有益な情報やお話しをいただけないかご相談したところ、ご快諾いただき、この度、本メールマガジンの連載企画として情報提供いただけることになりました！

～西塔さんから一言いただきました！～

「地域おこし協力隊の制度設計の専門家で、全国の自治体の協力隊採用・活動支援と、県単位での研修を担当しています西塔です。私自身も、元地域おこし協力隊です。現在は、雑誌 TURNS (ターンズ) で「誰も書かない地域おこし協力隊のトリセツ」を連載中です。また、協力隊向けの学びの場である「さとのば大学(<https://satonova.org/prospective/>)」も運営しています。メルマガの連載では、協力隊が身につけたい知識やノウハウなどについて情報提供ができればと考えております。よろしくお願いたします。」

西塔さん。ありがとうございます。

来月号から不定期に連載していきたいと思いますので、皆さんお楽しみに！（私も楽しみです！）

○西塔さん Facebook

<https://www.facebook.com/saito.motomi>

【4】【協力隊 OBOG の今】陸別町地域おこし協力隊 OB 日向優さんの取組をご紹介します

日向さんは、大学院まで札幌市で過ごし、博士課程修了後、大阪の製薬会社に就職され医薬品の研究開発に従事されていましたが、今後のキャリアを模索する中で、当時大阪で開催されていた「移住フェア」に参加。陸別町の担当者との出会いがきっかけとなり体験移住をしたところ、町民の温かさや豊かな自然が気に入り、2017年に陸別町の地域おこし協力隊として、ご夫婦で移住されました。

任期中は、町の気候に適した漢方生薬向けの薬用植物栽培研究を行うとともに、「高麗人参飴」など2商品の特産品化。さらに、町の森林資源からエッセンシャルオイル（精油）を抽出しアロマキャンドル作りのワークショップを開催するなど、「町の植物資源の活用」をテーマに幅広く活動されました。

2020年に任期満了となりましたが、そのまま陸別町に定住。前職や地域おこし協力隊での経験を活かし、自ら栽培した薬用植物やハーブを活用した食品や化粧品、アロマ関連商品などの開発を行う「種を育てる研究所（タネラボ <https://tanelab.theshop.jp/>）」を2021年に立ち上げられました。町内外の事業者とのコラボにも力を入れており、町の栄養教諭と協力して「薬膳給食」を提供したことや、広範囲の道東地域の事業者と商品開発やメニュー開発を行ったことがメディアにも大きく取り上げられました。

このような業績が評価され、11月には内閣官房・農林水産省が選定する「ディスカバー農山漁村の宝」に全国651件の応募の中から選ばれ、「奨励賞（個人部門）」を受賞されました。12月には、総理官邸で授与式が行われたそうです。

最後に、日向さんから現役隊員に向けて一言いただきました。

「任期を終えて思うこととして、協力隊任期中に自分の「新たな武器」を作ることは重要であると感じます。自分のこれまでの資格や経験を活かして協力隊の活動を行うことももちろん良いですし、結果も出やすいと思います。ですが、せっかく協力隊という立場を手に入れたのですから、得意分野とはまったく異なる分野を勉強してみたり、資格をとったりすることをおすすめしたいです。私の場合は、薬剤師資格や化学者としての経験がありましたが、協力隊任期中は、それはほとんど役に立たず、完全に素人だった農業（薬用植物栽培）分野を勉強しながら活動していました。大変な経験の方が多く、悩んだ時期も長かったのですが、農業を勉強したことが今では自分の武器になっています。その新しい武器を持つことで、従来の得意分野と組み合わせた新たな発想が生まれてきますし、自分の人生の選択肢を大きく広げることに繋がります。ぜひ積極的に未知の分野に飛び込んでみてください！」

日向さんありがとうございました。

今後も陸別町で活躍される日向さんから目が離せませんね。

<お願い>

北海道地域おこし協力隊メールマガジンでは、市町村、地域おこし協力隊など関係者の皆さんからの掲載記事を募集しています。

道内で活動中の皆さんの取り組み紹介でも構いません！他地域の皆様の取組が情報共有、また様々

